

# 家畜衛生だより

## 牛の法定検査の内容が変わります

### 乳用牛

- 定期検査(4年に1度)で実施していた牛の結核・ブルセラ病は清浄化が進展しているため廃止となります。
- ヨーネ病の検査は従来どおり実施します。  
検査時期は、入間郡が7~8月、比企郡が9~10月を予定しています。
- 搾乳牛は年2回のBVD-MDのバルク乳検査を実施予定です。(無料検査)  
引き続き浸潤状況の把握を行います。
- 導入牛や販売用子牛はその都度ヨーネ病・BVD-MDの検査を行い、健康牛確保に努めてください。(有料検査)

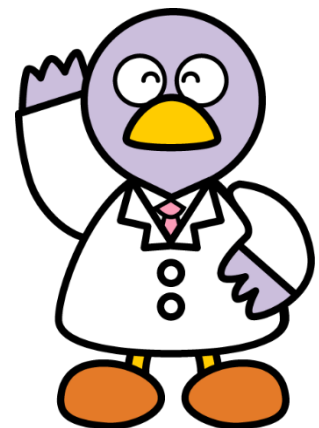
### 肉用牛(繁殖用)

- 過去の定期検査で保存している血液を用いてBVD-MDの検査を行い、浸潤状況を調べます。(無料検査)
- 導入牛や販売用子牛はその都度ヨーネ病・BVD-MDの検査を行い、健康牛確保に努めてください。(有料検査)

検査のご依頼は家畜保健衛生所まで!

#### ☆検査料金について

ヨーネ病検査・・・800円/頭  
BVD-MD検査・・・600円/頭



※BVD-MDについては裏面参照

# 牛ウイルス性下痢・粘膜炎 (BVD-MD)

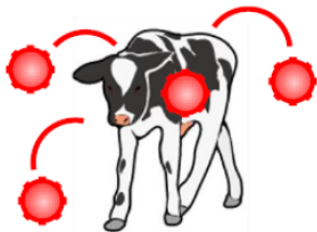
## 《どんな病気？》

- ◇ BVDウイルスの感染による牛の病気で、繁殖障害や異常産、下痢などを起こす
- ◇ 白血球に感染するため免疫力が低下、他の感染症にかかりやすく・・・
- ◇ 妊娠100日前後の牛が感染すると、産子が**持続感染(PI)牛**に・・・

## 《持続感染 (PI) 牛とは？》

- 生涯ウイルスを排出
- 見た目は健康そう
- 発育不良や下痢がある場合も
- PI牛からはPI牛しか生まれず、**回復しない**

気づかないうちに  
農場や取引先にまん延



PI牛の摘発・淘汰  
(評価額の2/3補助)

